



## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

2020年1月9日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規常備医薬品、切り替え医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。2020年2月4日(火)からオーダー開始としています。

## 棚卸の実施について

すでに、医薬品材料係よりお知らせがありましたように、2020年3月31日に棚卸が実施されます。経営効率を高めるため、可能な限り在庫の常備薬を使用して下さい。薬剤部においても3月末には在庫数を限りなく0に近づける予定です。中止薬等ありましたら早めに返却して下さい。なお、**在庫不足により薬の供給が遅れることがあります**が、ご協力をお願いします。

## 「イダマイシン静注用5mg」オーダー再開のお知らせ

DI express 2019年3月号でお知らせしましたように、抗腫瘍性抗生物質製剤「イダマイシン静注用5mg」において、海外委託製造所で実施した製造環境(微生物)のモニタリング試験で、微生物数が通常より高い傾向を示したため、本剤が製造停止・出荷量制限されることとなり、2019年3月31日からオーダー停止していました。この度、出荷調整が解除され本薬剤の出荷が再開したため、2020年2月19日よりオーダー再開します。

## 「セファゾリンナトリウム注射用1g(日医工)」オーダー再開のお知らせ

DI express 2019年7月号でお知らせしましたように、合成セファロsporin系抗生物質「セファゾリンナトリウム注射用1g(日医工)」において、原薬入荷および製造等の問題で供給停止となり、2019年6月7日よりオーダーを一時停止としていました。

この度、供給制限が解除され本剤の出荷が再開したため、2020年2月19日からオーダー再開します。

## 「ジェノトロピンゴークイック注用12 mg」オーダー一時停止のお知らせ

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「ジェノトロピンゴークイック注用12 mg」において、2019年後半に実施された海外製造所での定期的な検証で、無菌環境に疑義のある結果となったことから、本剤の出荷が保留となり、欠品することとなりました。これに伴い2月5日から処方オーダーを一時停止しました。なお、「ジェノトロピンゴークイック注用12 mg」の当院採用の代替薬は以下の薬剤となっております。

### 【院内採用（常備医薬品）の代替薬】

グロウジェクト皮下注 12 mg

ノルディトロピンフレックスプロ注 10 mg

ヒューマトロップ注射用 6 mg

※プラダーウィリー症候群に限り

ジェノトロピンゴークイック注用 5.3 mg（臨時採用医薬品）

## 「リルテック錠 50 mg」供給一時停止のお知らせ

筋萎縮性側索硬化症用剤「リルテック錠 50 mg」において、原薬を製造するための出発物質の供給問題により、供給が一時停止することとなりました。これに伴い、2020年1月20日にオーダーを一時停止しました。当該薬剤の代替薬として、2020年1月21日より、「リルゾール錠 50 mg (AA)」がオーダー開始になりました。

## 「ザイヤフレックス注射用」供給停止について

デュピュイトラン拘縮治療剤「ザイヤフレックス注射用」において、海外メーカーから、国内メーカーへの供給を行わないとする通告を受け、国内への供給が停止となっております。本剤の供給継続を求める仮処分命令の申し立ても却下されたことにより、現在の在庫量から2020年3月末には在庫消尽により長期間の供給停止が予測されます。

## 「ベオーバ錠50 mg」出荷調整のお知らせ

選択的β3アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤「ベオーバ錠 50 mg」において、投与期間制限解除に伴い、当初の販売予測を大幅に上回る注文が発生したため、品薄状態となっております。そのため、本剤の新規投与や本剤への切り替えはできるだけ控えるようお願い致します。

## 臨時採用医薬品のオーダー開始のお知らせ

手書き処方箋にて対応していた下記の臨時採用医薬品のオーダー入力を開始しました。

オーダー開始日	医薬品名
2020.1.30	☆ビンダケルカプセル 20 mg

## 販売中止に伴う代替医薬品の採用についてのお知らせ

オーダ変更日	変更前		変更後
2020. 1. 21	アダラート cap 10 mg	→	ニフェジピンカプセル 10 mg 「サワイ」
2020. 1. 21	ミルナシプラン塩酸塩 15 mg、25 mg 「AFP」	→	ミルナシプラン塩酸塩 15 mg、25 mg 「サワイ」

## オーダ名変更のお知らせ

オーダ変更日	変更前		変更後
2020. 1. 22	アミカマイシン 100 mg 1 mL	→	アミカシン硫酸塩注射液 100 mg 「明治」
2020. 1. 30	塩酸プロカルバジン cap 50 mg 「中外」	→	塩酸プロカルバジンカプセル 50 mg 「TYP」
2020. 2. 4	ブドウ糖 50% 20 mL	→	糖液注 50% 20 mL 「AFP」

## 販売名変更のお知らせ

※在庫が無くなり次第、順次変更します。

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置期間
ジアゾキシドカプセル 25 mg 「MSD」	→	ジアゾキシドカプセル 25 mg 「OP」	2020年3月31日★
1%プロポフォール注「マルイシ」 (規格：20 mL、50 mL、100 mL)	→	プロポフォール静注 1% 20 mL、 50 mL、100 mL 「マルイシ」	2020年9月30日
ボンフェナック坐剤 12.5、25、50	→	ジクロフェナクナトリウム坐剤 12.5 mg、25 mg、50 mg 「ゼリア」	2020年3月31日★

★延長申請が予定されています。

## 禁忌追加のお知らせ

### ◎パルモディア錠 0.1mg(一般名:ペマフィブラート錠)＜高脂血症治療剤＞

【禁忌】 血清クレアチニン値が2.5mg/dL以上又はクレアチンクリアランスが40mL/min未満の腎機能障害のある患者 [横紋筋融解症があらわれることがある。]

※下線部を改訂

### ◎ミルナシプラン塩酸塩錠15mg、25mg「サワイ」(一般名:ミルナシプラン塩酸塩)＜抗うつ薬(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤)＞

【禁忌】 モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者

【併用禁忌】 モノアミン酸化酵素阻害剤

セレギリン塩酸塩 (エフピー)、ラサギリンメシル酸塩 (アジレクト)、サフィナミドメシル酸塩 (エクフィナ)

### ◎イグザレルト錠10mg、15mg(一般名:リバーロキサバン)＜抗凝固薬(選択的直接作用型第Xa因子阻害剤)＞

【併用禁忌】 コビスタットを含有する製剤 (スタリビルド、ゲンボイヤ、プレジコビックス)

※下線部を追加

## 「オプジーボ」とシリコーン製カテーテルの適合性について

DI express 2019年7月号でもお知らせしましたように、抗悪性腫瘍剤（ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体）「オプジーボ」において、シリコーン製カテーテルを使用したCVポート製品を用いた場合、カテーテルからの通過液に蛋白質の凝集体を認めたと製薬企業より報告がありました。それに伴い、CVポート9製品およびPICC4製品を用い追加の通過性試験が行われました。その結果を踏まえた、下記の留意点の報告がありました。

- ・CVポート又はPICCからオプジーボ（以下、「本剤」）を投与する場合は、希釈後の最終濃度が1.9 mg/mL以上となるように調製することを推奨します。
- ・CVポート又はPICC留置時の通液、及びCVポート又はPICCからの薬剤投与前のフラッシングを、引き続き実施することを推奨します。
- ・CVポート又はPICCからの本剤投与にあたっては、引き続き、投与中又は投与後の患者さんの状態を注意深く観察してください。

## 投与期間制限解除のお知らせ

- ◎エブクルーサ配合錠（一般名：ソホスブビル、ベルパタスビル）＜抗C型肝炎ウイルス剤＞
  - ◎セリンクロ錠 10mg（一般名：ナルメフェン塩酸塩水和物）＜アルコール依存症 飲酒量低減薬＞
  - ◎タリージェ錠 5mg（一般名：ミロガバリンメシル酸塩）＜末梢性神経障害性疼痛治療剤＞
  - ◎ビラフトビカプセル 50mg（一般名：エンコラフェニブ）＜抗悪性腫瘍剤(BRAF 阻害剤)＞ ※臨時採用医薬品
  - ◎メクトビ錠 15mg（一般名：ピニメチニブ）＜抗悪性腫瘍剤(MEK 阻害剤)＞ ※臨時採用医薬品
  - ◎ミネプロ錠 2.5mg（一般名：エサキセレン）＜高血圧治療薬(選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー)＞
  - ◎レルミナ錠 40mg（一般名：レルゴリクス）＜子宮筋腫治療薬(GnRH アンタゴニスト)＞ ※院外専用医薬品
  - ◎ビムパットドライシロップ 10%（一般名：ラコサミド）＜抗てんかん薬＞
- 薬価収載後1年が経過するため、2020年3月1日から投与制限が解除され長期投与可能となります。

## 「アクトヒブ」の針の不具合について

乾燥ヘモフィルスb型ワクチン「アクトヒブ」において、溶解液シリンジ注射針表面に錆が認められる事象が報告されています。現在調査中とのことではありますが時間を要しており、供給可能な製品を準備することができなくなり、欠品となる見込みです。それに伴い、2月18日にオーダを一時停止します。

なお、現在流通している製品に関しては、下記4点に問題が無い事を確認してから使用してください。

また、不具合が見つかった場合には使用せず、薬剤部へご連絡ください。

- ・針全体の表面に茶～赤褐色の付着物、変色等が認められないこと
- ・特に針先端部や針基部付近に変色が認められないこと
- ・シリンジ内の針基部付近及び液中に異物が認められないこと
- ・シリンジ内の液が変色していないこと（無色澄明であること）

本件に関する厚生労働省の対応については下記 URL から確認可能

<http://www.pmda.go.jp/files/000233550.pdf>

## 「ルミセフ皮下注210mgシリンジ」の針の不具合について

ヒト型抗ヒト IL-17 受容体 A モノクローナル抗体「ルミセフ皮下注 210mg シリンジ」において、注射針が曲がっている事象が医療機関より報告されています。製造過程でシリンジにキャップをする際に生じた事象と推定され、シリンジ製造元ではすでに対策を講じていますが、投与される際は針の状態を確認のうえ、使用いただきますようお願いいたします。不具合が見つかった場合には使用せず、薬剤部へご連絡ください。

また、自己注射される患者さんに処方する場合には以下の内容をお伝えください。

- ・使用直前に、必ず針の状態を確認してください
- ・針が曲がっている場合は使用（投与）しないでください
- ・針が曲がっている場合は、主治医か医療機関に相談してください

## 効能・効果、用法・用量改訂のお知らせ

◎テオドール錠 100mg(一般名:テオフィリン徐放性製剤) <キサンチン系気管支拡張剤>

◎テオフィリン徐放ドライシロップ小児用 20%「日医工」(一般名:テオフィリン徐放ドライシロップ)

<キサンチン系気管支拡張剤>

【用法・用量に関連する使用上の注意】

【参考：日本小児アレルギー学会：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2017】

6～15歳では8～10mg/kg/日（1回4～5mg/kg 1日2回）より開始し、臨床効果と血中濃度を確認しながら調節する。

◎フィコンパ錠 2mg、4mg(一般名:ペランパネル水和物) <抗てんかん薬>

【効能・効果】※部分発作に対しては抗てんかん薬との併用療法の記載がなくなり、単剤使用可能に

【用法・用量】<部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合>

[単剤療法] 通常、成人及び4歳以上の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。維持用量は1日1回4～8mgとする。なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高8mgまでとする。

[併用療法] 通常、4歳以上12歳未満の小児にはペランパネルとして1日1回2mgの就寝前経口投与より開始し、その後2週間以上の間隔をあけて2mgずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は1日1回4～8mg、併用する場合の維持用量は1日1回8～12mgとする。なお、症状により2週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。

<強直間代発作に用いる場合>

[併用療法] なお、症状により1週間以上の間隔をあけて2mg以下ずつ適宜増減するが、1日最高12mgまでとする。

◎パベンチオ点滴静注 200mg(一般名:アベルマブ(遺伝子組換え))

※臨時採用医薬品

<抗悪性腫瘍剤(ヒト型抗ヒトPD-L1モノクローナル抗体)>

【効能・効果】根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

【用法・用量】アキシチニブとの併用において、通常、成人にはアベルマブ(遺伝子組換え)として1回10mg/kg(体重)を2週間間隔で1時間以上かけて点滴静注する。

※下線部を追加・改訂

## 包装変更・使用期限変更等のお知らせ

### ◎イノラス配合経腸用液<経腸栄養剤>

容器（アルミパウチ）に「開封直前によく振ってから使用すること」を追加

### ◎ハイボン錠 20mg（一般名：リボフラビン酪酸エステル）<高コレステロール血症改善ビタミン剤>

錠剤刻印の文字の太さ、錠剤の厚さ変更 重量に変更はなし

### ◎プラザキサカプセル 75mg（一般名：ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩）<直接トロンビン阻害剤>

カプセルの色変更（青/白→白/白）

### ◎プレバミス点滴静注 240mg（一般名：レテルモビル）<抗サイトメガロウイルス化学療法剤>

ラベル・個包装に「インラインフィルター使用のこと」の表示追記

### ◎ルセンチス硝子体内注射用キット 10mg/mL（一般名：ラニズマブ（遺伝子組換え））<眼科用 VEGF 阻害剤>

バイアル製剤との適応区別のため包装表示変更

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 369

### ★抗インフルエンザウイルス薬の安全性について

令和元年10月29日開催の安全対策調査会で報告された、抗インフルエンザウイルス薬投与後の異常行動発現に係る報告状況等について紹介する。

### ★平成30年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑い報告について

平成30年シーズンのインフルエンザワクチンによる副反応疑い報告状況について、その概要を紹介する。本報告状況は令和元年8月30日に開催された合同会議で審議されたもの。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

### ◎アテゾリズマブ（遺伝子組換え）（商品名：テセントリク点滴静注1200mg）

<抗悪性腫瘍剤（抗PD-1ヒト化モノクローナル抗体）>

【重大な副作用】血球貪食症候群：血球貪食症候群があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※血球貪食症候群関連症例 6例（うち死亡1例）（平成30年4月～令和元年9月）

### ◎オシメルチニブメシル酸塩（商品名：タグリッソ錠40mg、80mg）

<抗悪性腫瘍剤（チロシンキナーゼ阻害剤）>

【重大な副作用】うっ血性心不全、左室駆出率低下

※心不全関連症例 5例（うち死亡0例）（平成28年5月～令和元年9月）

### ◎ビラスチン（商品名：ビラノア錠20mg）<アレルギー性疾患治療剤>

【重大な副作用】ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※ショック、アナフィラキシー関連症例 3例（うち死亡0例）（平成28年11月～令和元年8月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 286 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改定内容
レボドパ （ドパストン静注、ドパストン散） ※ドパストン散 臨時採用医薬品  レボドパ・カルビドパ水和物 （メネット配合錠、デュオドパ配合経腸用液） ※デュオドパ配合経腸用液 臨時採用医薬品  レボドパ・カルビドパ水和物・エンタホン （スタレボ配合錠L）  レボドパ・ベンセラジド塩酸塩 （マトパー配合錠）	※重要な基本的注意：一部改訂 レボドパ又はドパミン受容体作動薬の投与により、病的賭博（個人的生活の崩壊等の社会的に不利な結果を招くにもかかわらず、持続的にギャンブルを繰り返す状態）、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食等の衝動制御障害が報告されている。また、レボドパを投与された患者において、衝動制御障害に加えてレボドパを必要量を超えて求めるドパミン調節障害症候群が報告されている。患者及び家族等にこれらの症状について説明し、これらの症状が発現した場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
オルメサルタンメドキソミル （オルメサルタン OD 錠「DSEP」）	※重大な副作用：追記 間質性肺炎 発熱、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常等を伴う間質性肺炎があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
イブラクラフィロジンL-プロリン （スーグラ錠）	※重大な副作用：追記 ショック、アナフィラキシー
シタクラフィリンチンリン酸塩水和物・イブラクラフィロジンL-プロリン （スーグヤ配合錠） ※院外専用医薬品	※重大な副作用：一部改訂 ショック、アナフィラキシー
セクキヌマブ（遺伝子組換え） （コセンテックス皮下注ペン）	※重大な副作用：追記 紅皮症（剥脱性皮膚炎）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

※DSUについて：最重要、重要の情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）で確認可能

## ＜別紙＞新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

## 【1】新規採用依頼医薬品

## ①常備医薬品(合計10品目)

2020年2月4日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	アクラシン 423	注	20mg	劇 ハイリスク	3,035.0	日本マイクロバイオファーマ	Aclarubicin Hydrochloride 抗腫瘍性抗生物質(アントラサイクリン系抗癌剤) ★低濃度で癌細胞RNAを阻害し、抗腫瘍効果を発揮する ★代謝が速やかで、ほとんど蓄積性が認められていない ★ハムスターの心機能に与える影響が極めて軽微であった ★比較的副作用が軽微であるため、再発難治例や高齢者に対する治療薬として有用である ※使用患者数が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:1981.12.4】
1	エイベリス 131	点眼	0.002% 2.5mL	劇	951.0/mL	参天製薬	Omidenepag Isopropyl 緑内障・高眼圧症治療剤(選択的EP2受容体作動薬) ★世界初の選択的EP2受容体作動薬 ★EP2受容体に選択的に結合して刺激することで繊維柱帯流出路及びびどう膜強膜流出路を介した房水流出を促進し、眼圧下降作用を示す ★1日1回の投与 ★PG製剤特有の副作用(色素沈着、睫毛異常、DUES等)が認められないため、良好な患者満足度とアドヒアランスが期待できる 【発売:2018.11.27】
1	オプトレイ350注シリンジ 721	注	100mL	-	7,456.00	ゲルベ・ジャパン	Ioversol 非イオン性造影剤 ★親水性が高いため細胞毒性が低い ★副作用の発現率は1.76%(承認時までの試験+使用調査+効能追加試験) 【発売:2009.7.31】
1	コラン 219	錠	2.5mg	劇	82.9	小野薬品工業	Ivabradine Hydrochloride 慢性心不全治療薬(HCNチャネル遮断薬) ★心臓の洞結節にあるHCNチャネルを阻害する新規作用機序の慢性心不全治療薬 ★心拍数の減少作用、心血管系死または心不全悪化による入院のハザード比を低下させることができる ★欧州心臓病学会(ESC)GL 2016において、推奨クラスIIa ★症候性HFrEF患者に対する治療は、最初にACE阻害薬とβ遮断薬を導入する。それでも症状が残存し、LVEF≤35%の場合はMRA(ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬)を追加する。それでも症状が残存し、LVEF≤35%、心拍数≥70回/分の場合は、イブラジンを導入する。 【発売:2019.11.19】
1	セリンクロ 119	錠	10mg	劇	301.5	大塚製薬	Nalmefene Hydrochloride Hydrate アルコール依存症・飲酒量低減薬 ★アルコール依存症における飲酒量低減を効能・効果とする国内で初めての薬剤 ★μオピオイド受容体及びδオピオイド受容体に対してはアンタゴニスト活性を示し、κオピオイド受容体に対しては部分アゴニスト活性を有する ★内因性オピオイドに拮抗することにより飲酒量低減効果を示すと考えられている ★アルコール依存症の治療は断酒の達成とその継続が原則だが、患者によっては断酒を受け入れず、治療そのものを拒否してしまうことが臨床的に問題になっている ★断酒困難な患者に対して、飲酒量の低減を目標とした本治療が有用と考える 【発売:2019.3.5】
1	ダルベポエチンアルファ注シリンジ「KKF」 399	注	30μg	劇	3,586.0	協和キリン	Darbepoetin Alfa(Genetical Recombination) 腎性貧血治療剤(持続型赤血球造血刺激因子製剤) ★先発品ネスプのオーソライズドジェネリック ★腎性貧血治療においては、先発品と全く同等品で薬価が約35%~40%低減されている ★外来人工透析の保険は包括化されており、有用性が同じなら安価な製剤が好まれる ★透析導入前の慢性腎臓病における貧血治療は患者負担が発生するため、安価な製剤の方が患者の経済的負担を軽減できる 【発売:2019.8.5】
1			60μg	劇	6,327.0		
1	テリホン皮下注オートインジェクター 243	皮下注	28.2μg	劇	6,018.0	旭化成ファーマ	Teriparatide Acetate 骨粗鬆症治療剤(副甲状腺ホルモン) ★現行品(テリホン皮下注用56.5μg)に比べ、1回投与量を半量にしており、悪心・嘔吐の副作用が少ない ★自己注射可能であり、患者の通院負担が軽減される ★骨吸収を亢進することなく骨形成を促進する ★腰椎骨密度上昇効果において現行品との非劣勢が証明された ★類似薬であるフォルテオ皮下注キットと比較し、自己注射回数を減らせ、投与毎の針替えや、初回時の空打ちの必要がない、簡便な自己注射デバイスとなっている ★週2回投与 ※同成分薬:テリホン皮下注用56.5μg採用あり 【発売:2019.12.11】



1	プレバイス 625	錠	240mg	劇	14,645.5	MSD	Letemovir 抗ウイルス剤(抗サイトメガロウイルス化学療法剤) ★同種造血幹細胞移植(HSCT)患者におけるCMV感染症の発症抑制に適応を有する薬剤 ★世界初のCMVターミナーゼ阻害剤(ヒトには存在しないCMVターミナーゼ複合体を阻害) ★同種造血幹細胞移植後のサイトメガロウイルス感染症は移植関連死亡につながる重要な合併症であり、この発症を抑制することで移植成績の改善が期待される ★希少疾病用医薬品 ※使用患者数が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2018.5.28】
1	ミニリルトOD 241	錠	25μg	劇	57.5	キッセイ薬品	Desmopressin Acetate Hydrate 脳下垂体ホルモン剤(バソプレシンV <sub>2</sub> 受容体活性化薬) ★夜間多尿に直接アプローチできる「男性における夜間多尿による夜間頻尿」の適応を有する薬剤 ★今現在の排尿障害改善薬では、夜間多尿に直接アプローチできる薬剤は日本では発売されていない ★高齢で夜間の多尿により睡眠時間を確保できない患者の夜間多尿を改善することで、患者のQOL向上につなげることができる 【発売:2019.9.20】

⑥臨時採用医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	ゾスバタ 429	錠	40mg	劇 ハイリスク	19,768.5	アステラス製薬	Gilteritinib Fumarate 抗悪性腫瘍剤(FLT3阻害剤) ★低分子のチロシンキナーゼ阻害剤であり、FLT3阻害作用を有する新規化合物である ★再発又は難治性のFLT3遺伝子変異陽性のAML患者に使用 ★国際共同第Ⅲ相治験において、再発または難治性のFLT3遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病患者に対し、CR/CRhは28.2%であり、良好な治療効果が期待できる ※緊急購入歴あり 【発売:2018.12.3】

⑦院外専用医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	ハイエッタ皮下注ペン 249	注	5μg 10μg	劇 ハイリスク	10,069.0 10,069.0	アストラゼネカ	Exenatide 糖尿病治療薬(GLP-1受容体作動薬) ★アクランソ注射用20mg、プレバイス錠240mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2010.12.17】
7	アミサリン 212	錠	125mg	-	10.1	アルフレッサファーマ	Procainamide Hydrochloride 不整脈治療薬(Naチャネル遮断薬) ★コラン錠2.5mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1953.7.1】
7	タフコム配合 131	点眼	タフルプロスト 15μg チモロール 5mg	劇	958.1/mL	参天製薬	Tafloprost, Timolol Maleate 緑内障・高眼圧症治療薬(β遮断薬・プロスタグランジン類配合点眼剤) ★エイベリス点眼液0.002%採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:2018.12.3】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	エボエチナルファBS注シリンジ「JCR」	注	1500単位	劇	ミニリルトOD錠25μg採用の場合、削除
1	エルシニン注20S	注	20単位	劇	テリソソ皮下注28.2μgオートインジェクター採用の場合、削除
1	オムニパーク300注シリンジ	注	100mL	劇	オプトレイ350注シリンジ100mL採用の場合、削除
1	ヘガリス皮下注	注	90μg	劇	セリンコ錠10mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計8品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アミサリン	錠	125mg	-	コラン錠2.5mg採用のため、区分7へ移行(2020年2月4日に移行)
1	サイレース	注	2mg	劇	イノラス配合経腸用液採用のため、削除(2020年2月4日に削除)
1	タフコム配合	点眼	-	劇	エイベリス点眼液0.002%採用のため、区分7へ移行(2020年2月4日に移行)
1	ネスブ注射液アラシリンジ	注	30μg	劇	ダルベボエチンアルファ注30μgシリンジ「KKF」採用のため、削除(2020年2月4日に削除)
1		注	60μg	劇	ダルベボエチンアルファ注60μgシリンジ「KKF」採用のため、削除(2020年2月4日に削除)
1		注	5μg	劇	アクランソ注射用20mg採用のため、区分7へ移行(2020年2月4日に移行)
1	ハイエッタ皮下注ペン	注	10μg	ハイリスク	プレバイス錠240mg採用のため、区分7へ移行(2020年2月4日に移行)
1	ヘグイントロン	注	100μg	劇	エブクルーサ配合錠採用のため、削除(2020年2月4日に削除)

【4】報告事項

1)緊急購入薬の薬剤部長承認について

⑨緊急購入医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
9	シムターザ配合 625	錠	ダルナビル 800mg コビシスタット 150mg エムトリシタビン 200mg テノホビルアラ フェナミド10mg	劇	4,839.0	ヤンセンファーマ	Darunavir Ethanolate,Cobicistat,Emtricitabine,Tenofovir Alafenamide Fumarate 抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) ★当薬剤はプレジコビックス配合錠とデシコビLT錠との合剤である ★1日1回1錠の服用によるsingle tablet regimenが可能となる ★服用の利便性・コンプライアンスの向上が期待される ★薬価はプレジコビックス配合錠(2039.9円)とデシコビLT錠(2799.1円)の合計と同等となっている 【発売:2019.7.26】
9	テトカイン「杏林」 121	注	20mg	劇 ハイリスク	80.0	杏林製薬	Tetracaine Hydrochloride 局所麻酔剤 ★キシロカインアレルギーがあり、アミド型局所麻酔薬を使用できない患者に使用 【発売:1959.8.30】
9	ヘムライブラ 634	皮下注	105mg	劇 ハイリスク	1,155,029.0	中外製薬	Emicizumab(Genetical Recombination) 血液凝固第VIII因子機能代替製剤 ★皮下注製剤のため、血管確保の困難な患者に対しても使用可能 【発売:2018.12.3】
9	メキシチール 212	cap	100mg	劇 ハイリスク	25.8	太陽ファルマ	Mexiletine Hydrochloride 不整脈治療剤(Naチャネル遮断薬) ★シネリグ薬にて効果なく、心室性期外収縮が頻発し、メキシチールに戻すと症状および不整脈発作が改善するため、緊急購入薬として購入 【発売:1985.7.29】

※緊急購入医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替医薬品の採用について(2020年1月21日に切り替え予定)

現在	切替薬(後発品)
アダラートカプセル10mg(13.9円) (先発品)	→ ニフェジピンカプセル10mg「サワイ」(5.7円)
ミルナシبران塩酸塩錠15mg「AFP」(10.7円) (後発品)	→ ミルナシبران塩酸塩15mg「サワイ」(10.7円)
ミルナシبران塩酸塩錠25mg「AFP」(15.3円) (後発品)	→ ミルナシبران塩酸塩25mg「サワイ」(15.3円)

3)供給停止に伴う代替医薬品の採用について(2020年1月21日に切り替え予定)

現在(先発品)	切替薬(後発品)
リルテック錠50(1433.3円)	→ リルゾール錠50mg「AA」(678.8円)

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用医薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:緊急購入医薬品)